

青少年のインターネット利用実態(H28)

内閣府が青少年のインターネット利用環境に関する実態調査結果の速報を発表しました。結果は次の通りです。

○青少年の**80.2%**が、インターネットを利用。

使用機器はスマホ(47.2%)、携帯ゲーム機(21.7%)、
タブレット(20.9%)の順。

保護者の94.2%が、インターネットを利用。

使用機器はスマホ(80.1%)、ノートパソコン(44.6%)、
タブレット(25.7%)の順。



○青少年のインターネットの

平均利用時間は約**154分**。

小学生平均が93分、中学生が138分、高校生は207分と、
学校種が上がると長時間傾向。

保護者のインターネットの平均利用時間は約133分。

○青少年のインターネットの利用内容は、

高校生…**コミュニケーション(90.6%)**、動画視聴(84.1%)、音楽視
聴(82.8%)

中学生…**動画視聴(74.0%)**、ゲーム(72.8%)、コミュニケーション(67.2%)

小学生…**ゲーム(78.1%)**、動画視聴(60.5%)

○安全・安心に使うための保護者の認知は、

㊦「出会い系サイト、著作権等の違法情報の問題点を知っている。」…83.1%

㊦「インターネットの過度の利用に関する問題点を知っている。」…58.1%

㊦「クレジットカード管理等の電子商取引に関する問題を知っている。」…63.5%

○青少年のインターネット利用に関する保護者の取組(スマホ)は、

「**フィルタリングを使用している**…**44.6%**、子どものネット利用状況を把握…**34.2%**」が多く、

「利用時間等のルールを決めている」が26.6%と前年度より4.4%増。

(参考：2/28 福井新聞、内閣府 HP http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/net-jittai_list.html)

◆昨年の個人情報流出 1260 万件

サイバー攻撃の被害を公表した国内企業・行政機関の93組織から、個人情報流出、または流出した恐れのある個人情報が**1260万件**(前年の約**6倍**)にのぼることがわかった。一部重複する部分もあるが、単純計算では**人口の約1/10**の規模になるもので、ネット利用者の身近な脅威になっている実情が浮かんでくる。

(参考：2/28 福井新聞、中日新聞)

